

移動等円滑化取組報告書（鉄道駅）

（令和元年度）

住 所 東京都江東区青海1-2-1

事業者名 東京臨海高速鉄道株式会社
代表者名 代表取締役社長 浅川英夫

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の5の規定に基づき、次のとおり報告します。

I 前年度の移動等円滑化取組計画書の内容の実施状況

(1) 移動等円滑化に関する措置の実施状況

① 鉄道駅を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる鉄道駅	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
新木場駅	・旅客用化粧室に音声案内付触知案内板を設置し、オストメイト設備を備えた多機能型トイレを増設する。(2019～2020年度)	2019年度は詳細設計を実施し、工事着手した。
東雲駅	・旅客用化粧室に音声案内付触知案内板を設置し、オストメイト設備を備えた多機能型トイレを増設する。(2019～2020年度)	2019年度は詳細設計を実施し、工事着手した。
国際展示場駅	・視覚障がい者誘導用ブロックをJIS規格に改修する。(2019年度) ・有人改札窓口のオープンカウンター化を実施する。(2019年度) ・既存エレベーターを大型化する。	計画通り実施済み。
東京テレポート駅	・ホームと改札階を結ぶエレベーターを増設し、既存エレベーターを大型化する。(2019～2020年度) ・有人改札窓口のオープンカウンター化を実施する。(2019～2020年度)	2019年度は詳細設計を実施し、工事着手した。
大井町駅	・ホームドアの運用を開始する。(2019年度) ・視覚障がい者誘導用ブロックをJIS規格に改修する。(2019年度)	計画通り実施済み。
各駅	・各駅における車両とホームの段差・隙間の実態を調査し、一部の隙間対策に着手する。	2019年度は実態調査を実施し、必要な物品発注を実施した。

- ② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
乗降介助が必要なお客様の支援充実	乗降介助が必要なお客様のご案内の連絡をより円滑に行うため、東雲駅、東京テレポート駅、天王洲アイル駅、品川シーサイド駅にJRとの連絡を円滑にする専用の電話を設置する(2019年度)。	計画通り設置済み。

- ③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
案内サインの充実	全駅において案内サインの増改修を完了させる(2019年度)。	2019年度予定箇所は計画どおり実施済み。2020年度以降も必要に応じ改善を進めていく。

- ④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
障がい者の接遇に関する民間資格の取得促進	おもてなしの心と安全な介助技術を学ぶ「サービス介助士」の資格を駅社員を中心に取得・更新させる(2019年度)。	駅社員中心に資格取得12名、更新49名。

- (2) 移動等円滑化の促進を達成するために(1)と併せて講ずべき措置の実施状況

各駅に「声かけ・サポート」運動強化キャンペーンポスターを掲出。 2019年10月、当社HP上でも同強化キャンペーンの各社共通リリース文を掲載した。
--

- (3) その他

--

II 鉄道駅の移動等円滑化の達成状況（鉄道駅ごとに記入）

（令和元年3月31日現在）

鉄道駅の名称	路線名	所在都道府県市町村	一日当たりの利用者数	有人駅、無人駅の別	公共交通移動等円滑化基準適合の有無	段差への対応	プラットホームの数	段差が解消されているプラットホームの数	エレベーターの設置基数	エスカレーターの設置基数	その他の昇降機の設置基数	傾斜路の設置箇所数	視覚障害者誘導用ブロックの設置の有無	案内設備の有無	障害者対応型の便所の設置の有無	障害者対応型の改札口の設置の有無	障害者対応型の券売機の設置の有無	車椅子使用者の円滑な乗降が可能なプラットホームの数	転落防止のための設備の有無
新木場駅	りんかい線	東京都江東区	67,065人	○	○	1	1	1基(1)	6基(6)	基	箇所()	○	○	○	○	○	○	1	○
東雲駅	りんかい線	東京都江東区	14,673人	○	○	2	2	2基(2)	2基(2)	基	2箇所(2)	○	○	○	○	○	○	2	○
国際展示場駅	りんかい線	東京都江東区	59,392人	○	○	1	1	1基(1)	10基(10)	基	箇所()	○	○	○	○	○	○	1	○
東京テレポート駅	りんかい線	東京都江東区	67,379人	○	○	1	1	3基(3)	16基(16)	基	箇所()	○	○	○	○	○	○	1	○
天王洲アイル駅	りんかい線	東京都品川区	42,205人	○	○	1	1	2基(2)	17基(17)	基	1箇所(1)	○	○	○	○	○	○	1	○
品川シーサイド駅	りんかい線	東京都品川区	48,462人	○	○	1	1	2基(2)	16基(16)	基	1箇所(1)	○	○	○	○	○	○	1	○
大井町駅	りんかい線	東京都品川区	88,092人	○	○	2	2	2基(2)	23基(23)	基	箇所()	○	○	○	○	○	○	2	○
(合計)計 駅				駅	6駅	7駅	9	9	13基(13)	90基(90)	基	4箇所(4)	6駅	7駅	7駅	7駅	7駅	9	7駅

III 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行規則第6条の2で定める要件に関する事項

(1) 過去3年度における1日当たりの平均利用者数が3万人以上の鉄道駅を設置又は管理している。	○
(2) 過去3年度における1日当たりの平均利用者数が3000人以上3万人未満の鉄道駅を設置又は管理していて、かつ、以下のいずれかに該当する。 ①中小企業者でない。 ②大企業者である公共交通事業者等が自社の株式を50%以上所有しているか、又は自社に対し50%以上出資している中小企業者である。	

(第2号様式)

注1. 複数の路線が乗り入れる鉄道駅は1鉄道駅として計上し、路線名の欄に当該複数の路線名を記入すること。

- 有人駅、無人駅の別の欄には、当該鉄道駅が無人駅である場合に○印を記入し、(合計)には、○印の合計数を記入すること。
- 公共交通移動等円滑化基準適合の有無の欄には、当該鉄道駅が公共交通移動等円滑化基準適合の全ての基準に適合している場合に○印を記入し、(合計)には、○印の合計数を記入すること。
- 段差への対応の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令第4条及び第18条の2の基準に適合している場合に○印を記入し、(合計)には、○印の合計数を記入すること。
- プラットホームの数の欄には、当該鉄道駅に設置されているプラットホームの総数を記入し、(合計)には、その合計数を記入すること。
- 段差が解消されているプラットホームの数の欄には、鉄道駅の出入口とそれぞれのプラットホームとの間の経路の段差が解消されているプラットホームの数を記入し、(合計)には、その合計数を記入すること。
- エレベーターの設置基数の欄には、当該鉄道駅に設置されたエレベーターの総数を記入し、同欄の括弧内には、公共交通移動等円滑化基準省令第4条第7項の基準に適合するエレベーターの設置基数を記入し、(合計)には、それぞれの合計数を記入すること。
- エスカレーターの設置基数の欄には、当該鉄道駅に設置されたエスカレーターの総数を記入し、同欄の括弧内には、公共交通移動等円滑化基準省令第4条第9項の基準に適合するエスカレーターの設置基数を記入し、(合計)には、それぞれの合計数を記入すること。
- その他の昇降機の設置基数の欄には、エレベーター及びエスカレーター以外の昇降機の設置基数を記入し、(合計)には、その合計数を記入すること。
- 傾斜路の設置箇所数の欄には、当該鉄道駅に設置された傾斜路の総数を記入し、同欄の括弧内には、公共交通移動等円滑化基準省令第4条第6項及び第6条の基準に適合する傾斜路の数を記入し、(合計)には、それぞれの合計数を記入すること。

11. 視覚障害者誘導用ブロックの設置の有無の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令第9条の基準に適合している場合に○印を記入し、（合計）には、○印の合計数を記入すること。
12. 案内設備の設置の有無の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令第10条から第12条までの基準に適合している場合に○印を記入し、（合計）には、○印の合計数を記入すること。
13. 障害者対応型便所の設置の有無の欄には、当該鉄道駅に便所が設置されていない場合は一印を、便所が設置されており、かつ、障害者対応型便所（公共交通移動等円滑化基準省令第13条第2項の基準に適合するものをいう。第10号、第12号、第22号及び第24号様式を除き以下同じ。）が設置されていない場合は×印を、障害者対応型便所が設置されている場合は○印を記入し、（合計）には、○印の合計数を記入すること。
14. 障害者対応型改札口の設置の有無の欄には、当該鉄道駅に改札口が設置されていない場合は一印を、改札口が設置されており、かつ、障害者対応型改札口（公共交通移動等円滑化基準省令第19条の基準に適合するものをいう。以下同じ。）が設置されていない場合は×印を、障害者対応型改札口が設置されている場合は○印を記入し、（合計）には、○印の合計数を記入すること。
15. 障害者対応型券売機の設置の有無の欄には、当該鉄道駅に券売機が設置されていない場合は一印を、券売機が設置されており、かつ、障害者対応型券売機（公共交通移動等円滑化基準省令第17条の基準に適合するものをいう。以下同じ。）が設置されていない場合は×印を、障害者対応型券売機が設置されている場合は○印を記入し、（合計）には、○印の合計数を記入すること。
16. 車椅子使用者の円滑な乗降が可能なプラットホームの数の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令第20条第1項第1号から第3号までの基準に適合しているプラットホームの数を記入し、（合計）には、その合計数を記入すること。
17. 転落防止のための設備の設置の有無の欄には、公共交通移動等円滑化基準省令第20条第1項第6号から第8号までの基準に適合している場合に○印を記入し、（合計）には、○印の合計数を記入すること。
18. Ⅲについては、該当する場合には右の欄に○印を記入すること。
19. 「中小企業者」とは、資本金の額が3億円以下又は従業員数が300人以下である民間事業者を指す。
20. 「大企業者」とは、中小企業者以外の民間事業者を指す。